

「すてる」から「めぐる」社会インフラへ。 リユース容器循環プラットフォームMegloo



株式会社カマン
代表取締役善積真吾

「パパー！
ハイッ、ごみー。」





81%

テイクアウト後の
ゴミで罪悪感を感じる
※N=91 弊社独自アンケートより

Problem

容器包装プラごみ

400万t

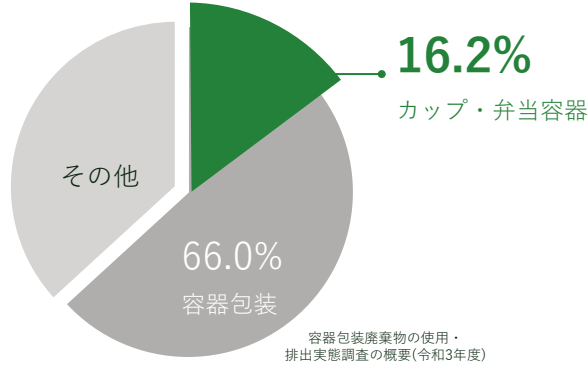
日本の年間廃プラ総排出量

820万t

出典: 一般社団法人プラスチック循環利用協会
『2022年プラスチック製品の生産・廃棄・再資源化・処理処分の状況』

Problem

家庭ごみの分析（容積比）

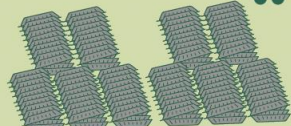
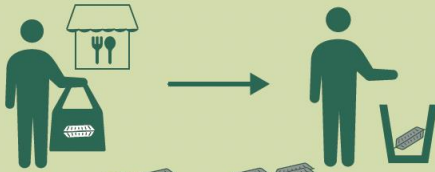


リユース容器を使ってごみを減らそう。

捨てるから、

テイクアウト

廃棄

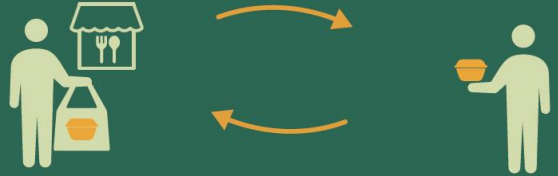


100回利用で100個のゴミ

めぐるへ。

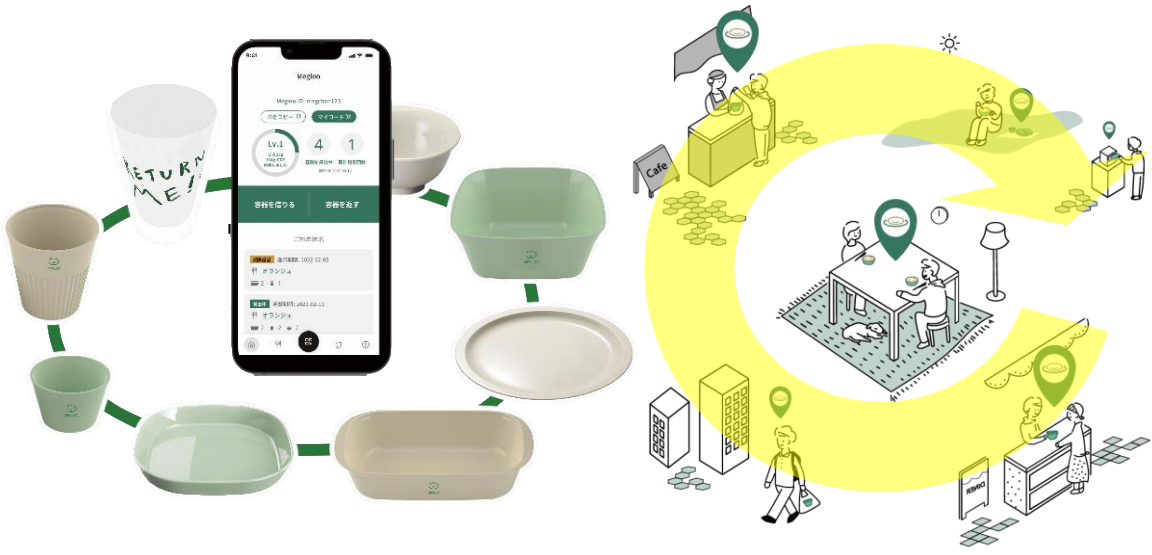
テイクアウト

容器返却



100回以上利用も1つの容器

地域共通のリユース容器をみんなでシェア
スマホで簡単に借りられ、返却は対応店舗どこでもOK。



街でめぐる

どこでも返せる

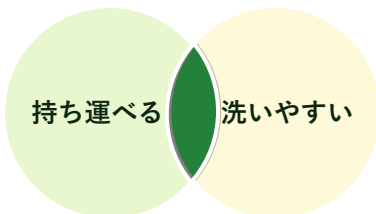
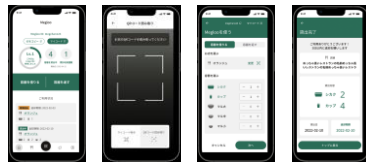
500回以上繰り返し利用できる容器+アプリ+オペレーション



シェアに最適な形状

アプリで返却率向上

一貫したオペレーション



返却率99%

ローカルで確立して、
低コスト・低環境負荷

圧倒的な環境インパクト



使い捨て容器
100個 = ゴミ 3kg

MEGLOO容器
1個(100回利用) = ゴミ 0kg

CO₂
排出量



90% 削減

輸送も洗浄も込

100回使っても、ごみはゼロ。CO2は9割削減

リユース容器って、興味はあるけど難しそう・・・



洗うのが大変そう



汚れたまま返却でOK！



高そう



30円/個～で手軽にレンタル！



皿が選べない



15種類以上から選択可！



なくなりそう

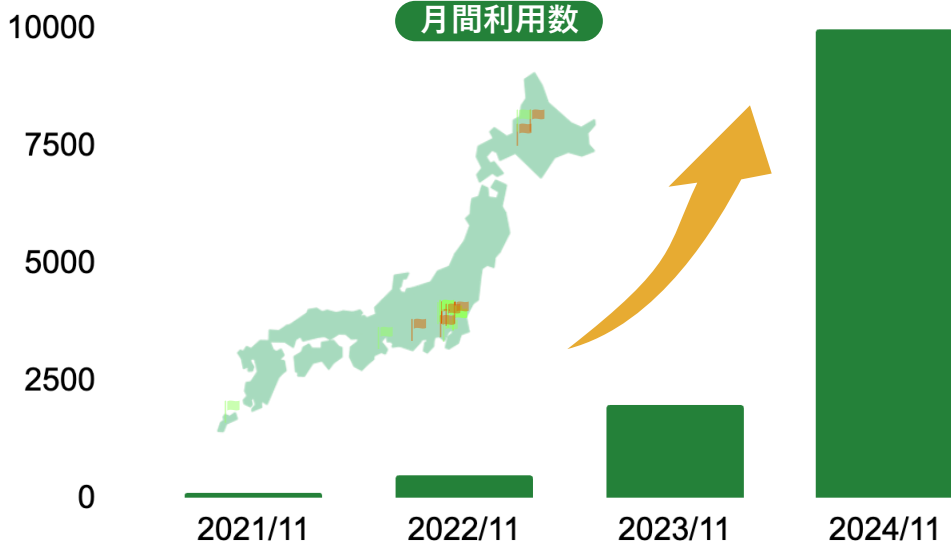


QR読込で返却率99%以上！



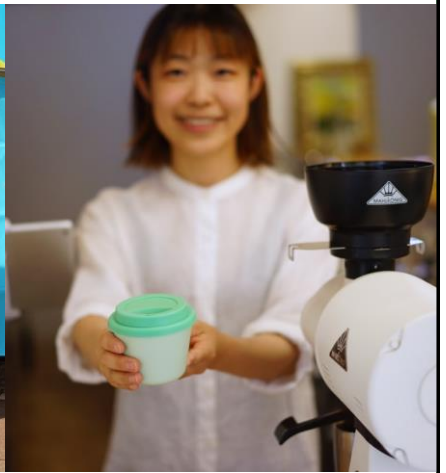
リユースの課題を一つ一つクリア

多数メディアに取り上げられ、全国20都市へ展開



利用者数・利用回数・店舗数共に堅調に推移

北海道での事例



2023/7~
栗山町への展開

2023/9
Woltと札幌イベント実施

2023/10~
苫小牧カフェ3店舗で展開

栗山町、苫小牧での展開、札幌でのイベント利用など

Hokkaido Innovation Week

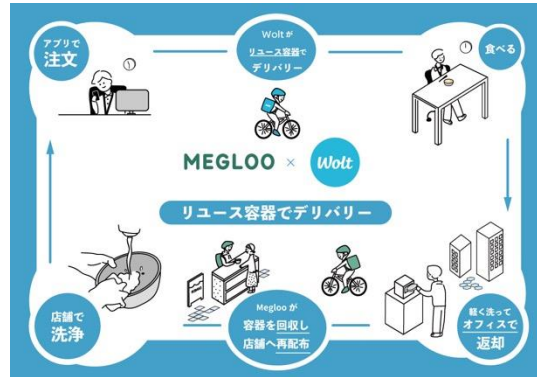
STARTUP HOKKAIDO



今後の北海道での取り組み



- ・使い捨てカップ千個/日以上
- ・海外客が多く環境意識が高い
- ニセコカップの実証実験



→札幌×Woltのデリバリーで
ゼロウェイストな街づくり

2050年「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、
脱炭素に向けたライフスタイルの変容を実践します

注力エリア



街



イベント
・フェス



商業施設
・オフィス

特にイベントへの導入が好調

スタジアムやイベントでの大量の廃棄物

J1平均（21,000人）で

1t/試合

可燃ごみ+プラごみの量
※カマン社実績から推定



スポーツでもサステナビリティが強く求められる時代へ



Jリーグでは2026からSports Positive League 開始

チームの気候変動対策をランキング化

12項目中2項目が直接的関与
(使い捨てプラ削減とごみ削減管理)

リユース容器を活用して、一歩進んだサステナビリティ対応で差別化



かながわビジネスアクセラレーションプログラムで
湘南ベルマーレと全面リユース容器導入し、スポーツイベントへ急速拡大

弊社の特徴



ローカルで洗浄・運営拠点

地域内完結型の循環により、輸送コスト・輸送由来CO₂を最小化

全国対応

リユース一気通貫でサービス提供

最適なオペレーション設計、輸送～回収～洗浄、レポートまで一気通貫でリユースサービス提供。容器も自社で設計。

蓋付き容器も弊社だけ

テクノロジーで楽しい&効率的

RFIDやQRコードを活用し、返却時のインタラクティブさ、誤廃棄検出、容器数の管理、リアルタイムで環境効果可視化などが可能

リユースはオペレーションが大変→RFID連動のシステムを開発



① インタラクティブ

返却すると選手から御礼 & 環境貢献度を可視化



② 誤廃棄検出

間違えて捨てられたものもハンディターミナルで検出

回収先	場所	時間
ルパーク (RFID対応)	エコステーション	14:00
ート前		
済み)	キッチンカー	
	場外	
	中央ゲート	
	中央ゲート	
③ データ管理		
タンド	容器の配布・回収時の個数を即座に把握	
	中央ゲート付近	
	予備 (追加設置)	
	7HIDEゲート側2	
タンド	コンコース	
	6ゲート側1	
	6ゲート側2	
	8ゲート側	

全容器にRFIDシールを貼り、返却するという義務感を、楽しく便利に！

容器5,698個のリユースに成功！



9割以上

リユース賛成!



105.9kg

ごみ削減 ↓



杉20,561本

1日に吸収するCO2 ↓

本当に減りました

一人あたりのごみ排出量平均

2024年11月30日来場者数

推定ごみ総量

$$46.5\text{g} \times 13,192 = 614\text{kg}$$

推定ごみ総量
614kg

減ったごみ
117kg

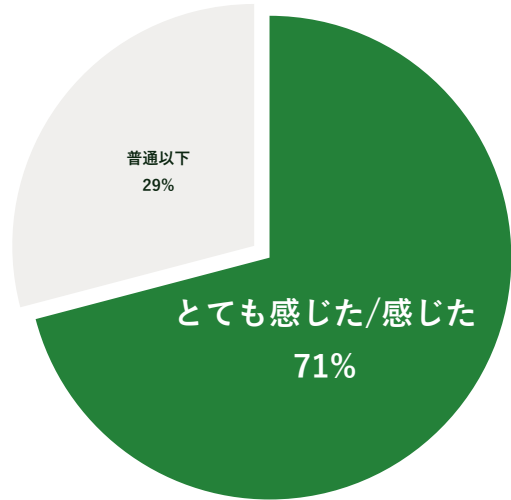
実際のごみ総量
497kg

リユース容器を使用した分だけごみ排出量が実際に削減！

利用者の声



利用して環境意識に変化を感じましたか？



某J1チーム利用者アンケート結果 N=119

リユースは手にとって分かる施策→消費者の意識変容にも繋がる

スタジアム／イベントでの大量の廃棄物

J1平均（21,000人）で

1t/試合

可燃ごみ+プラごみの量
※カマン社実績から推定



使い捨て容器だけで、

J1平均（21,000人）で

100万円/試合

廃棄しているんです



どちらの100万円が良いですか？



使い捨て容器

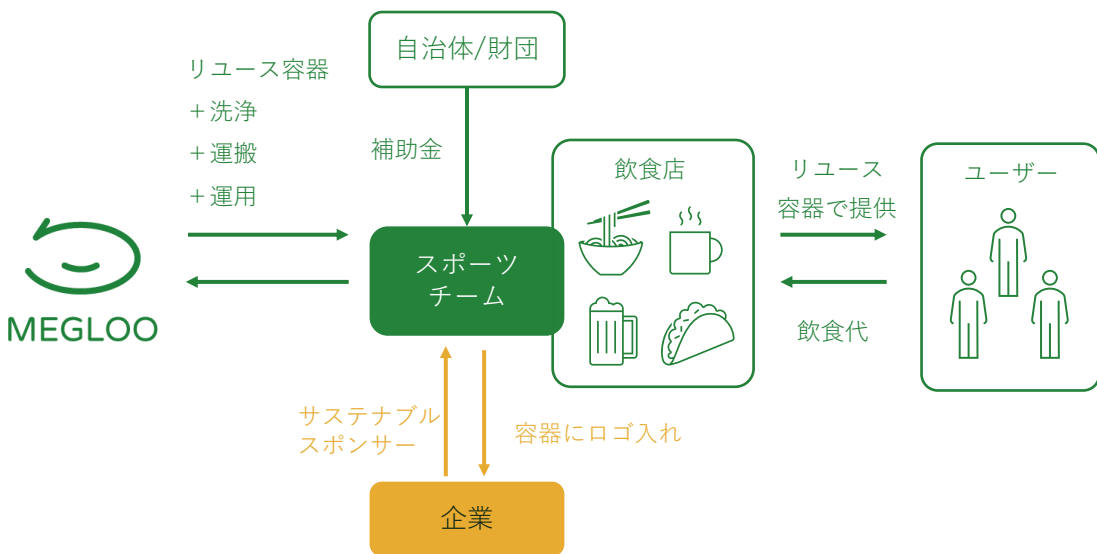
リユース容器



一瞬でごみとなる100万円

ごみとならない100万円

2026~2028年度 → 常設へ





導入実績

イベント導入
年間100件以上

大型イベント



商業施設/大学



NAKANO CENTRAL PARK



街全体

鎌倉

横浜

中目黒

有楽町

蔵前

袋井

苫小牧

栗山

京都



イベントから日常へ



3億

2027

イベント/フェス



10億

2030

オフィス/学校



50億

2033

コンビニ/スーパー

食品包装容器に関する世界の動き



2023年よりテイクアウト時に

再利用食器の選択肢付与が義務化



2023年7月～

使い捨て容器税。弁当 0.5€、カップ 0.25 €



2030年

リユース20%へ



～2030年

リユース10%義務化 (2025年施行の欧州容器包装法より)



2026年

国際プラスチック条約合意予定

環境負荷の低いリユースが世界的に広がっている



イベントでは当たり前(リユースカップが義務)



日常でも街のいたるカフェで導入されてきている

2024年4月オランダDGTL行ってきました

①分別



②可視化



③削減策



リユース

ヴィーガン

you 100%再エネ ising

国際プラスチック条約を議論するINC4 開催期間中に
AEPW主催 Solution Showcaseにて国連環境計画事務局長
Inger Andersen氏へMeglooの説明 (2024/4/22 @ Ottawa, Canada)

国際プラスチック条約でもリユースの関心が高まっている

世界は進んでいる。
が、日本でももっと広げられる。

憧れのサーキュラー先進国
欧州とある国中心部



当たり前前に落ちているごみ

鎌倉観光地の路上

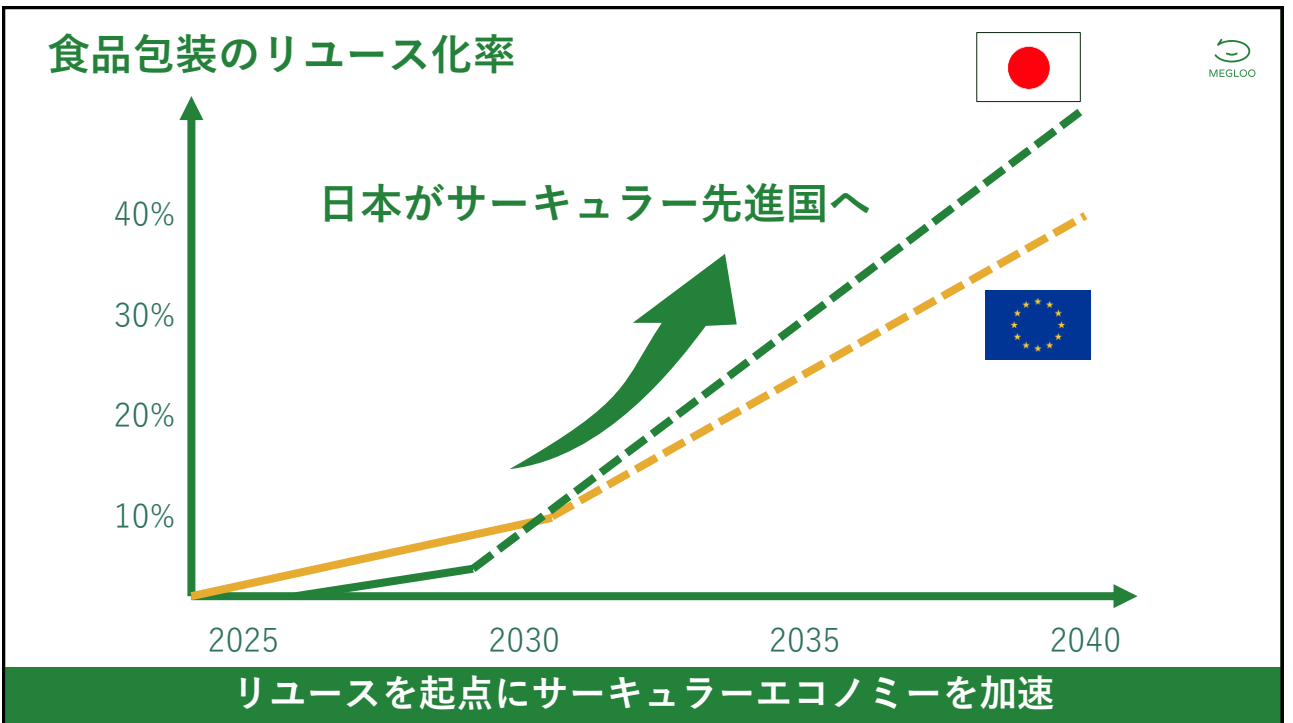


当たり前前に落ちていないごみ

丁寧に使い、
決められた場所に返す。
これを当たり前にする国はほとんどない。

日本のモラルは世界一

※個人的主観



ごみを減らして、循環者になろう。

湘南～三浦半島まで広がる

第3回

KCA

鎌倉
サーキュラーアワード
KAMAKURA CIRCULAR AWARD

開催決定!

リスペクトでつながる「共生アップサイクル社会」共創拠点主催

ナカメ
サーキュラー
チャレンジ! 2026
Nakame Circular Challenge

めぞせゴミ
0!! zero



東京一の桜の名所中目黒で
ゴミの削減に挑戦!

2026 3.27 FRI ▶ 4.5 SUN

2025 Challenge

昨年の成果

7日間のゴミ総回収量

832.66kg

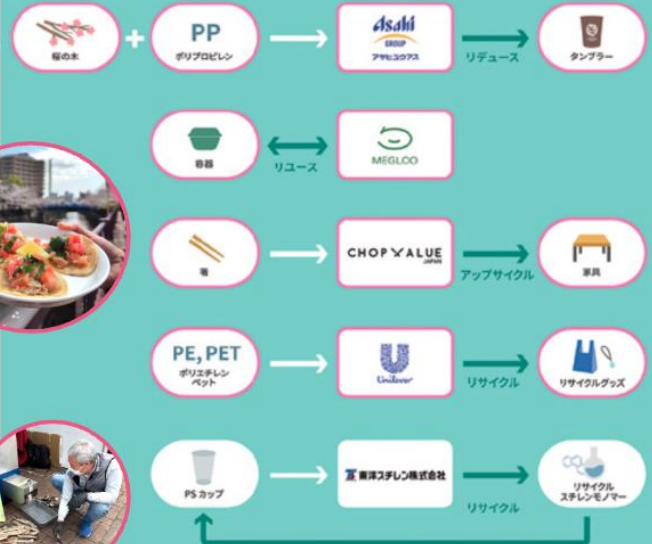
(70ℓゴミ袋344袋分)

- **Reduce** 使い捨てカップ500食分削減
- **Reuse** 回収率100%達成
- **Recycle** PSカップ1,590個回収・減容



ナカメサーキュラーチャレンジ実施のフローマップ

新規取り組み



2025 Challenge

詳しくは2025報告書へ👁️



Table of Contents もくじ

Context はじめに	3
Impact of Nakame Circular Challenge 結果概要	10
Fabric Research Methodology お花見ゴミに関する意識調査	16
General Insights 調査結果から見てきたもの	18
Our Possible Future リジェネラティブな コミュニティづくりに向けて	24
How We Get There 目標達成に向けた3つのアプローチ	26
Next Steps サクラ咲く未来への通り道 中長期ビジョンとアクションプラン	34

ナカメサーキュラーチャレンジ 2025
報告書

サクラ咲く
未来への
提言



地球環境の最大の脅威は、
「誰かが解決してくれる」
と多くの人が思っていること。

「捨てる」から
「めぐる」へ

次世代に、美しい循環を残そう

資料DL



WANTED

導入先

- スポーツチーム
- イベント主催者
- 飲食チェーン店
- 商業施設
- 洗浄パートナー

事業拡大

- チームメンバー
(BizDev, 開発)
- 資金調達